



平成 18 年 10 月 23 日

各 位

会社名 株式会社エフピコ
代表者名 代表取締役社長 小松 安弘
(コード番号 7947 東証・大証第一部)
問合せ先 取締役経理財務本部長 瀧崎 俊男
(TEL. 084-953-1145)

中間・通期業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 18 年 5 月 12 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)中間・通期における連結・個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日~平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	64,700	3,900	2,190
今 回 修 正 予 想 (B)	62,780	4,343	2,229
増 減 額 (B-A)	△1,920	443	39
増 減 率 (%)	△3.0	11.4	1.8
前期 (平成 18 年 3 月期中間) 実績	63,950	3,228	1,725

(2) 個別

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	61,300	3,550	1,930
今 回 修 正 予 想 (B)	59,394	4,000	2,102
増 減 額 (B-A)	△1,906	450	172
増 減 率 (%)	△3.1	12.7	8.9
前期 (平成 18 年 3 月期中間) 実績	60,894	2,733	1,220

2. 当期の業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	129,600	7,800	4,380
今回修正予想 (B)	127,000	8,500	4,480
増減額 (B-A)	△2,600	700	100
増減率 (%)	△2.0	9.0	2.3
前期 (平成18年3月期) 実績	126,815	6,656	3,686

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	122,800	7,100	3,900
今回修正予想 (B)	120,820	7,800	4,150
増減額 (B-A)	△1,980	700	250
増減率 (%)	△1.6	9.9	6.4
前期 (平成18年3月期) 実績	120,805	5,908	2,998

3. 修正の理由

当社は、独自製品の開発及び生産技術の強化に努め、お客様へ最新の情報・サービスとともに新製品をお届けすることを第一に考え経営努力を続けております。

中間業績の見通しは、期中に相次ぐ原料値上げがあったものの、原価低減への取り組みによる製造コスト低減やSCMによる物流コストのさらなる改善ならびに新製品化による社内努力の結果、過去最高益を更新し業績予想を上回ることが予想されますので、上記の通り上方修正いたします。

また、製商品別の売上高の見通しは、下記の「連結売上高の科目別構成状況」の通りであります。当社独自製品は、単身世帯の増加や女性の社会進出等の社会変化に支えられた「個食化」の進行により成長を続けております。商品は、各種包装資材の推奨品への絞込みと不採算取引の見直しにより減収となる見通しです。

なお、通期業績の見通しは、さらなる原料値上げが予想されるものの、新製品化ならびに営業・製造・物流・管理と全ての部門の生産性向上が順調に実行され、製品価格への転嫁等により、下期の業績見通しの増加分を考慮し、通期としては連結、個別の経常利益、当期純利益とも過去最高益を更新する見通しであります。

連結売上高の科目別構成状況

	18年9月中間期	17年9月期中間期	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
製 品	46,304	45,196	1,108	2.5
商 品	16,476	18,754	△2,278	△12.1
合 計	62,780	63,950	△1,170	△1.8

(注) 上記の修正予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上